



ほけんだより プール学習号

萩市立佐々並小学校
(6月28日発行)

もうすぐプール学習が始まります。暑い日が続いているため、楽しみにしている人も多いと思います。プールに入るときには決められたルールがあり、やぶってしまうと、楽しいはずのプールがけがや病気につながります。ルールを守って楽しいプール学習にしましょう。

もうすぐプール学習が始まります

泳ぐ前
シャワーで頭と体を
しっかりあらおう。

泳いだ後
顔と体をしっかり
あらおう。
うがいも忘れずに！

着がえの前後の手の
消毒も忘れずに！

泳ぐ前に…

前の日はしっかり眠る

朝、健康観察をする

準備体操はしっかりと

手、足のつめを切る

先生の話をよく聞く

泳いでいる時は…

プールサイドは走らない

具合が悪く
なったら先生
に言う

いたずら
禁止

●保護者の皆様へ

・本校の水泳指導における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

環境の整備	プール水の 残留塩素濃度管理	<ul style="list-style-type: none"> 水泳指導のある日は、朝、プール使用前・中・後、放課後（指導のない日は朝・放課後）に残留塩素濃度を測定し、プール管理日誌に記録し、基準値に達するよう管理する。（体育主任、養護教諭等） 取水口、対角にある2カ所、真ん中の残留塩素濃度の測定を行う。
	消毒	<ul style="list-style-type: none"> シャワー使用前後にシャワー水栓をアルコール製剤にて消毒を養護教諭が行う。 その他水泳指導にかかる、プール以外の児童が手を触れる箇所は、通常の授業と同じ場所（教室等）のため、放課後にアルコール製剤にて消毒を実施する。 ビート板等使用後は、しっかりと水洗いをして、天日にさらして乾燥させる。 しっかりと乾燥させるために、ビート板を人数分×2セット準備し、ローテーションで使う。 <p>※十分に乾燥が行えない場合は、ビート板を使用しない。</p>

児童の健康状態の把握と対応	健康状態の把握		<ul style="list-style-type: none"> 健康状態は、<u>保護者からの報告（検温表）</u>や朝の健康観察にて把握し、水泳可の判断があった場合も、水泳指導前に担任による健康観察を実施し体調が悪い場合には、見学をさせる。 <u>検温表を忘れたり無記入があったりした場合、水泳はできない。</u>
	熱中症対策		<ul style="list-style-type: none"> プールサイドで見学が可能な児童は、マスクを着け日陰で見学する。気温や暑さ指数が高い時はマスクを外す。 プールサイドで見学が難しい児童は、教室で自習する。 <u>水分補給のために、各自水筒を準備する。</u> レジャーシート、タオル、傘、うちわ、熱中症計、経口補水液等を養護教諭が準備する。
3密の回避と安全管理体制	3密の回避	更衣	<ul style="list-style-type: none"> 男女に分かれて更衣・準備する。 1・2年生 教室（男子2名）、教材室（女子1名） 3・4年生 教室（男子2名）、図書室（女子3名） 5・6年生 教室（男子3名）、図書室（女子3名） 更衣前後には手指消毒を行う。 2m以上の距離を確保し、換気をしながら行う。 マスクは、保健用のビニル袋（1日1枚、袋に入れる際は内側に折る）に入れて自分の机の中に保管し、他の児童が触ったり、間違えたりしないようにする。
		指導中	<ul style="list-style-type: none"> シャワーは、児童の間隔を十分保って一列に並び、一方通行で順に浴びる。 不必要な会話や発声を行わないこと、プール内外でも児童の間隔は2m以上を保つよう指導する。 個別目標別のグループ分けをし、少人数で対応する。 指導者との身体的接触は極力少なくする。
	安全管理体制		<ul style="list-style-type: none"> 複数教員を配置するため、全校児童で実施する。 拳手や点呼など身体接触のない方法で人員確認する。 グループ毎に管理職等が上から監視する。
	持ち物について		<ul style="list-style-type: none"> タオル、水筒は、自分の水泳袋に入れ、サンダルと共にプールサイドに間隔を空けて置き、間違えないように常に注意喚起する。 ゴーグルの貸借は禁止し、外すときは水着にはさむ。 <u>水泳で使用した物は、必ず当日に持ち帰り、洗濯・乾燥する。</u> <u>持ち物には記名をする。</u>

普段の学校生活でも熱中症を考慮し、3密がない場合はマスクを外す場面が増えていきます。マスクを保管する袋や布のご準備にご協力ください。

☆児童には、担任を中心に事前に分かりやすく指導する。低学年には、実際に動きながら丁寧に説明する。

全職員が共通して取り組めるように周知徹底します。
ご家庭でもお子様と一緒にしっかりと読まれ、安心・安全なプール学習になりますようご協力お願いいたします。

